

## 第5回移動等円滑化評価会議沖縄分科会 議事要旨

日時：令和5年10月10日(火) 14:00~16:00

場所：沖縄総合事務局 5F 海技試験室

### < 議 事 >

- (1) 沖縄における移動等円滑化の進捗状況について
- (2) 沖縄総合事務局の取組みについて
- (3) 沖縄市からの情報提供について
- (4) 質疑応答

### < 議事要旨 >

以下のような提案、要望があげられた。

- ・バス減便についての障がい者への情報伝達
- ・移動円滑化の目標値にユニバーサルタクシーの研修受講者数の追加
- ・SA、PAなどでの心のバリアフリーの認定促進
- ・駅無人化等の検討時における障がい者との対話の場づくり
- ・道路整備における歩車道の段差の確認状況
- ・ホテルの心のバリアフリー認定の推進
- ・心のバリアフリー認定マークでの英語表記
- ・ヘルプマーク、内部障がい者の困りごとの企業への周知
- ・視覚障がい者の移動手段確保に向けたタクシーの運転手、オペレーターの人員確保
- ・音声信号、エスコートゾーンの整備促進
- ・障がい者への理解に関する問題発生時における要因の分析
- ・那覇空港の身体障がい者用駐車場・乗降場における不正利用の実態把握及び指導体制の検討
- ・文字情報の充実に加え、翻訳アプリ活用への配慮
- ・外国人観光客にも配慮したバリアフリーマップの作成

< 出席者 >

	所 属	職 名	氏 名	出欠	参加	代理出席者
1	NPO法人エンパワメント沖縄	理事長	タカミネ ユタカ 高嶺 豊	○	オンライン	
2	NPO法人バリアフリーネットワーク会議	代表者	オヤカワ オサム 親川 修	○	現地	
3	NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会	理事	ナカネ ケンサク 仲根 建作	○	現地	
4	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	地域福祉課長	マエシロ タカシ 真栄城 孝	○	オンライン	
5	公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会	会長	ヤマダ ケイゴ 山田 圭吾	○	オンライン	
6	社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会	会長	ヤマシロ ミツマサ 山城 充正	○	オンライン	
7	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会	会長	チバナ ミツヒデ 知花 光英	○	オンライン	
8	一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会	会長	シロマ エリコ 城間 枝利子	○	現地	
9	公益財団法人沖縄県老人クラブ連合会	事務局長	シンジョウ トモミ 新城 智美	×		
10	公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会	理事長	タナカ ヒロシ 田中 寛	○	オンライン	
11	沖縄県発達障害者支援センター	地域療育課長	オオシロ タカコ 大城 貴子	○	オンライン	
12	沖縄都市モノレール株式会社	技術部長	ナガハマ マサカ 長浜 正勝	○	オンライン	
13	一般社団法人沖縄県バス協会	事務局長	タカエス マコト 高江洲 誠	○	現地	
14	一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長	ツバコ オサム 津波古 修	×		
15	一般社団法人沖縄旅客船協会	専務理事	マエザト タダシ 前里 正	○	オンライン	
16	一般社団法人沖縄県レンタカー協会	専務理事	ヨコタ ショウシ 與古田 思好	×		
17	一般社団法人沖縄県ホテル協会	会長	タイラ チョウイ 平良 朝敬	○	オンライン	カデカル タカオ 嘉手苺孝夫
18	那覇空港ビルディング株式会社	施設部施設課長	クニガミ サダオ 国頭 貞雄	○	現地	
19	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	国内事業部	キンジョウ タカシ 金城 孝	○	オンライン	
20	沖縄県企画部	交通政策課長	オオミネ ユタカ 大嶺 寛	○	オンライン	
21	沖縄県土木建築部	施設建築課長	ナカモト リエ 仲本 利江	○	オンライン	ミネイ アツシ 嶺井 敦
22	沖縄県子ども生活福祉部	障害福祉課長	フテンマ 普天間 みはる	×		
23	沖縄県文化観光スポーツ部	観光振興課長	オオシロ セイゴウ 大城 清剛	○	オンライン	
24	沖縄県教育庁	生涯学習振興課長	コメス カオルコ 米須 薫子	○	オンライン	イナミネ モリユキ 稲嶺 盛之
25	沖縄県警察本部交通部	交通規制課交通管制官	カミベツ ケンジ 上別府 賢二	○	現地	
26	那覇市都市みらい部	都市計画課長	サクガワ タイショウ 佐久川 泰尚	○	オンライン	
27	那覇市福祉部	福祉政策課長	オオシロ タカヤ 大城 孝也	○	オンライン	
28	那覇市子どもみらい部	子ども教育保育課長	トウバル カネミツ 桃原 兼光	○	オンライン	ウチマ テルヨ 内間 光代

事務局

	内閣府沖縄総合事務局運輸部	運輸部長	ホシ アキヒコ 星 明彦	×		
	内閣府沖縄総合事務局開発建設部	建設行政課長	ヒラカワ タカシ 平川 貴士	○		
	内閣府沖縄総合事務局運輸部	企画室長	ムラカミ ハヤト 村上 隼	○		

## 1. 資料についての質疑応答

番号	発言者	発言内容
1-1	BFN 親川委員	新聞等々で報道されているように、バスの減便が行われているが、その際、障がいをもった当事者の方にもしっかりと伝達して、バス離れにつながらないようにお願いしたい。 また、心のバリアフリーについてだが、現在、沖縄県でどのくらいの施設が認定を受けているのか把握してれば教えてほしい。
1-2	事務局 村上室長	人手不足がある中で、バス事業者と連携をとって周知に取り組んでいきたい。 心のバリアフリーの認定施設数については、手元に数値がないが、今年度は久米島のホテルが認定されるなど、少しずつ増えてきている。
1-3	脊髄損傷者協会 仲根委員	沖縄県の公共交通でバリアフリー対応の率が高まっており、ありがたいと思う。特に船舶の取組は離島県として感謝している。 先日、関東圏の無人駅4駅の視察、ユニバーサルタクシーの乗車体験をしてきた。移動円滑化の取組の評価指標に、ユニバーサルタクシーの研修を受けた人の人数を設定できないか。関東でもユニバーサルタクシーの利用の予約をやってみたが、予約しても直前で、ユニバーサルタクシーの研修を受けている職員が少なく回せないということで、予約を断られた。沖縄でも同様なことは起きており、研修を受けた方が1社で1人、2人、大きな事業所でも5人と少なく、沖縄県独自でもよいので、研修を受けた人数を指標として採用してほしい。
1-4	事務局 村上室長	ユニバーサルデザインタクシーの導入は全国的にも進んでいるが、人の対応は遅れていると感じている。県内でも研修を受ける人を増やしていきたい。指標化については、本省と相談したい。
1-5	BFN 親川委員	沖縄は観光立県なので、心のバリアフリーを増やしていく必要がある。他県では高速道路のSA/PAで認証を受けているところもある。

## 2. 委員からの情報提供

番号	発言者	発言内容
2-1	脊髄損傷者協会 仲根委員	駅の無人化は大変なことと認識している。今年3月に市立病院前駅と儀保駅を4月から無人化するとの通知があり、対話なしですぐに実施するのはいかがかと申し出て、駅舎の検証をさせてもらったが、駅のありかたがよくわからなくなっている。 先週、千葉都市モノレール、多摩都市モノレール、ゆりかもめ、京王電鉄、宇都宮のLRTを見学した。多くは沖縄よりも古くて車両のUD化も進んでいないが、ゆりかもめは、非常によくできていて、町もユニバーサルデザインの環境が整っていて、すごいと感じて帰ってきた。そこで感じたのは、当事者が困っていることを聞く場、仕組みがないことである。沖縄においてもゆいレールで、2、3年前に地域

番号	発言者	発言内容
		<p>の障がい者の声を聴く機会を設けたが、問題を感じている方はいなかったという結果であったが、問題がなかったというのが問題である。地域の障がい者、特に、視覚障がい者の方々は、困りごとがありながら発信の機会がなかった。無人駅は都市部でも増加しており、地方においてはもっと増加している。採算性の問題などいろいろな観点もあり、当事者自身も解釈をもって向き合い、望ましいあり方を求めていきたいと思った。</p> <p>参考までに京王電鉄では、ホームドア、段差処理も整備中で駅によって違いがあるが、各駅の状況をHPで掲載している。また、エレベータ横にQRコードを貼り付け、駅の状況がわかるようになっている。</p> <p>全国の脊髄損傷者協会で行っているが、飛行機に乗る時の電動車いすのバッテリーの確認に手間取っており、空港で扱いが違う状況がある。電動車いすのバッテリー規格の事前登録の取組が広がってきており、那覇空港でもお願いしたい。</p> <p>浦添市の国道58号に沖縄県のユニバーサル縁石が設置され、車いす利用者にとっては大変ありがたいが、視覚障がい者から見て問題がないか確認してほしい。基準では車道と歩道の段差は2cmとなっているが、新しい道路でも2cm以上の段差があるところもあり、チェック機能がどうなっているのかを確認したい。</p>
2-2	ホテル協会 嘉手苅委員代理	<p>心のバリアフリー認定制度についてだが、県内のホテルの充実、おもてなしの観点から非常に重要と考えている。現在10か所程度の認定にとどまっており、不十分である。県と連携して認定の数を増やしていきたい。認定制度の知名度が低く、協会加盟のホテルに浸透するように情報発信に努めていきたいが、ホテル側のメリットを示すことが大切である。</p> <p>また、認定のマークが日本語表記のみとなっているが、インバウンドのお客が増えているので、できれば英語表記もできないか。</p>
2-3	事務局 村上室長	<p>様々な機会を通じて、認定制度の知名度向上に取り組んでいきたい。英語表記については、関係者と共有したい。</p>
2-4	手をつなぐ育成会 田中委員	<p>内部障がい者は目視では障がいがあることがわかりにくい。例えば知的障がいでは、多動や突然の大声、奇声などがあり、周囲から変質者扱いで通報されることもたびたびある。困りごと、困っている声を聞くところがなく、当事者が一人で行動できないという原因として、支援する人が同行しないと動けない社会というところにある。バリアフリー教室等でも知的障がい者を対象にしたものがなく、内部障がい者の特性や支援の仕方がわかりにくくなっている。</p> <p>内部障がいのある方の目印として、ヘルプマークというものがあるが、これを企業においても認知してほしい。企業においては合理的配慮が義務化されるが、どのようなものが合理的配慮なのかわかりにくいことから、内部障がいの方の困りごとを伝えてほしい。</p>

番号	発言者	発言内容
2-5	高嶺会長	内部障がいとは外から見えないため、シミュレーションも難しい。他の身体の障がいはシミュレーションをして、おおよその状況はわかるが、内部障がいについても検討が必要。
2-6	視覚障害者協会 知花委員	モノレール駅の無人化に関連して付け加えると、特に視覚障がいの方が困っている感じがする。先日、テレビでもニュースになっていたが、無人化により中学生がオキカの更新ができないということが取り上げられており、色々なところで不便さが出ていると思う。 タクシー協会へのお願いであるが、最近、乗務員が減っていてタクシーが捕まりにくい状況となっている。タクシーの予約アプリを利用している方も多いと思うが、視覚障がい者は、オペレーターに直接電話して配車をお願いしている。予約アプリによって、オペレーターの人員が削減されると、視覚障がい者はタクシーを利用できなくなるのではないかと不安になる。視覚障がい者はバス、モノレールよりもはるかにタクシーを利用する機会が多いので、是非、各地区でオペレーターがいない地区がでないようにしてほしい。 音響式信号機などを県警で設置してもらっているが、予算の制約があるのか、毎年2、3箇所の設置となっている。エスコートゾーンも同様の状況であり、今後、どんどん設置を要望していくので、予算を増額してもらいたい。
2-7	事務局 村上室長	タクシーは人員不足もあり、住民、観光客も含めタクシーがつかまりにくい状況になっている。オペレーターの重要性についてはタクシー会社と共有したい。
2-8	精神保健連合会 山田委員	内部疾患について気がついてもらえない状況であるが、本人の勘違いもある。障がい者手帳を持っているから、車いす用駐車場を利用している人もおり、当事者への周知も必要である。 一部の教育委員会で精神障がい者に関する条項の問題を指摘すると、あっさりと削除されたが、何が問題であったかを検証してほしい。
2-9	BFN 親川委員	那覇空港の身体障がい者用駐車場で、レンタカーの引き渡しが行われていることが多い。しっかりエビデンスをとって報告したかったが、3年間みてきた中で、8割くらいは不正使用となっている。せっかくの身体障がい者用の駐車場、乗降場を、違法な人たちがどんどん利用しているのは非常におかしな現象だと思う。しっかりと調査を行い、指導体制も検討してほしい。
2-10	聴覚障害者協会 城間委員	今回の資料で、車いすのことや、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者等について記載されていたので、文字の情報提供についての話があるかと思ったが、その話がなかったのはさびしかった。 2～3年前から、国際的な動きもあり、少し手話ができるウクライナの団体6名が来て、交流させてもらい、沖縄はよいところといってもらった。その際に、首里城を観光し、スマホで案内文を翻訳するアプリを使用していたが、写真撮影は禁止と注意され、その後翻訳できなかった。全国の観光地においても、聴覚に障がいがない方も、同じように翻訳アプリを使って観光できるようになると良い。沖縄市か

番号	発言者	発言内容
		<p>らの紹介もあったが、文字の情報だけでなく、文字情報を補助する翻訳アプリについても配慮があってもいいかと思う。</p> <p>視覚障がい者は、視覚的な情報は多く必要になるので、視覚的な情報もたくさんもらえるようにお願いしたい。</p>
2-11	事務局 村上室長	<p>聴覚障がい者の方とモノレールで実地調査を行ったが、音声では情報がとれない方々に対して、どのように情報を伝達するかを一つの論点として実施した。どうすれば情報を伝えやすいのかということについて、議論を深め、すべてを頼ってはいけませんが、心のバリアフリーの推進や、総合事務局で実施しているバリアフリー教室といった取組で理解を深めたい。</p>
2-12	聴覚障害者協会 城間委員	<p>マップの情報について、車いす用のトイレがある、手話ができる方がいる等の情報を、外国人観光客がみてもすぐにわかるように、マップの質をあげてほしい。</p>